

麦



埼玉親の会「麦」発行
2026年2月23日 165号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ: <https://ldmugi.sakura.ne.jp/>



令和7年度を終えて～会長よりメッセージ～



紅白の梅のつぼみがふくらみ、寒さの中にも春の息吹を感じます。今年度も、あと1ヶ月を残すところとなりました。会員の皆様、今年度の「麦」活動は如何でしたか？

以前は、子どもが学校や会社に出かけて留守の間に活動に参加する会員が多かったため、平日に例会を開催していました。近年はほとんどの会員が仕事を持っているため、仕事を休まなくても例会に参加できるように、土日の開催を心掛けています。おしゃべり会やグループLINEの会話から会員のニーズを探り、例会を企画しましたが、如何でしたか？会員連絡網の情報提供は、お役に立てましたか？活動への希望等がございましたら、遠慮なくご連絡ください。ご希望に応えられるよう活動を検討いたします。

さて、皆様は何を求めて「麦」へ入会されたのでしょうか？親の会の良さとは、同じ悩みを持つ仲間と繋がることで孤独感や不安が解消され、精神的な安心感を得られることです。具体的な体験談や最新の支援情報が共有されることはもちろんですが、仲間との交流は、家庭の煮詰まった状況から離れ「心の安らぎ」を得ることができます。また、子育てに自信を無くしていた会員が、親の会に積極的に参加することで、前向きに変わっていったケースも少なくありません。そんな場面に遭遇する度、親の会に携わって来て良かったと思います。ただどんな世界でも、相性の良し悪しやちょっとしたすれ違い等はございます。その点をご理解願います。モヤモヤした際は、相性の良い仲間や理事達にご相談ください。

1年間、会員の皆様には多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。
至らない点も多かったかと存じますが、皆様のサポートのおかげで無事に1年を締めくくることができました。
4月からの新年度も、どうぞよろしく願いいたします。(H・Y)



2026年度総会（正会員限定）

2026年度の総会を下記のとおり行います。会計報告を含む全ての総会資料はデータでメール添付送信いたします。なお出欠連絡ハガキは、4月初旬に郵送いたします。印刷物の総会資料をご希望の方は、3/20（祝金）までに<mugi.saitama89@gmail.com>へご連絡ください。

日時 4月19日（日）10:30～（10:15 受付開始）

場所 浦和コミュニティセンター9階 IT研修室+オンライン

※4月初旬に郵送する出欠ハガキは4/13（月）必着でご返送ください。



発送活動

10月発送作業

10/25(土) 13:00～ 会場：さいたま市市民活動サポートセンターミーティングスペース

午前のおしゃべり会終了後に理事3名で機関紙印刷製本、封入作業を行いました。昔は、会員や関係先全てに印刷した機関紙を郵送していたので、会員からお手伝いを募り、10人以上で作業していました。近年はペーパーレス化が進んだ影響もあり、印刷物の郵送が減少しました。だからと言って、印刷物をゼロにすることはできません。印刷物のニーズはございます。印刷した機関紙を受け取りたい方は、「麦」事務局までお知らせください。

(H・Y)

全体活動

発達障害の子を持つ保護者おしゃべり会

10月おしゃべり会

10/25(土) 10:30～12:00 浦和コミュニティセンター IT 研修室



参加者9名 内訳：会員7(就労G3、教育G4)、非会員2

今回のおしゃべり会は参加者の子どもの年齢で2つのグループに分かれ、私は年齢の高いグループに入りました。中学や高校をどう選んだらよいか、高校卒業後はどうしたらよいか、といった進路のお話を中心でした。発達障害の特性と思われる原因で現在の学校でうまくいかない状況を思うと、その先の進路や将来の自立が不安になります。そんな心配事やそれぞれの経験談を出し合いました。他の方のお話を聴いて解決策が見つかるというわけでもなく、僅かでも参考になることが見つかったり、話すことで少し心がほぐれる機会になればいいないつも思います。(M・K)

12月おしゃべり会

12/13(土) 13:30～15:30 浦和コミュニティセンターIT 研修室

参加者13名 12家族 内訳：会員7(就労G4、教育G3) 非会員6(5家族)

浦和パルコ内のコミュニティセンターにて、今年最後のおしゃべり会に参加させて頂きました。

それぞれ子供の年齢でグループごとに分かれて お話をしました。

ベテランの役員の方が入って 話しやすいようにフォローして下さり、気軽に話す事が出来ました。不登校の悩み、引きこもりの悩み、友人関係の悩み、進学の問題、お金の使い方について、障害者手帳についてなど、沢山の話題が出ました。何度か おしゃべり会に参加させて頂いていますが、悩みを話せる場があるというのは 本当にありがたい事だと感じます。子の発達に関する悩みは、少し解決したかと思えば また別の悩みが出て来きて、終わる事はありません。それでも、話せる場があるという安心感は とても心強いです。なかなか解決策は見つからなくても、こういった話せる場に顔を出し、皆さんのお話を聞く事で 少しだけでも前に進めているように感じます。なかなか仕事で参加出来ませんが、また勉強会にも参加させて頂きたいと思います。(M・M)

全体活動

11月講演会

発達障害のある子の不登校・ひきこもり ～特性に配慮したサポートと未然防止策～

11/22(土) 13:30～15:30 浦和コミュニティセンターIT 研修室+オンライン

参加者33名 内訳：会員10、全国LD親の会6、非会員17(会場19、オンライン14)

講師：喜多見 学氏(子育て応援隊むぎぐみ代表)

講演を通じて、不登校や引きこもりは特別なことではなく誰にでも起こりうる可能性があること、原因の追究より現状を受け入れて未来思考の姿勢が大切だと学びました。また、社会の常識は思考を狭める可能性があること、人生には多様な選択肢があることを知れて、本人が自分に合った道を見つけて歩むことが第一なのだと感じました。当事者や家族が孤立しないよう、地域に支援者や居場所を増やしていくこと、意識していきたいと思っています。今回お話を聞くことができ、とても有意義でした。ありがとうございました。(K・K)



1月就労勉強会

埼玉障害者職業センターについて ～発達障害者の就労に向けた準備～

1/22 (木) 10:30～12:00 オンライン

参加者 12名 内訳：会員 7 (就労 G4、教育 G2、賛助 1)、全国 LD 親の会 2、非会員 3

講師 深山朋樹氏 (障害者職業カウンセラー)

現在小学校低学年の子どもの将来が心配で、就職に向けて行政が行っているサポート体制を知りたく、本講義を受講しました。

今回の埼玉障害者職業センターの講師の方のご講義を聞き、職業センターで実際に受けられる就職に向けての支援内容だけでなく、企業が雇用の際にどのような点を重視しているのかも良く分かりました。

学力的なものに目が向きがちでしたが、実際に現場で支援されている方 (講師) から、毎日通勤出来る、指示された事をやり遂げる、挨拶する、出来ない事は依頼する等、社会人としての基本的な部分が大切なのだとはっきりと伝えていただけたので、家庭でもその点を心に留めながら、これからの子育てをしていこうと方向性を再確認できました。

また、子ども自身が得意なこと、支援が必要な部分を理解している事も、障害を抱えながら仕事をしていくためには重要だと教わりました。自己理解と他者への自己の取り扱い説明は、なかなかハードルが高い課題ですが、「あなたは〇〇の時に〇〇すると出来るんだね」と前向きに、これからの実生活での出来事を通して子どもと話し合っていけたらと思います。

今回はオンライン講義という事もあり、物理的にも、体力的にも助けていただきました。また、機会があれば参加したいです。(A・Y)



役員活動報告 (さいたま市)

さいたま市「障害者週間」市民のつどい

12/6 (土) 10:00～15:00 会場：プラザノース

毎年 12 月 3 日から 12 月 9 日は「障害者週間」です。障害者基本法において、国民の間に広く関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に参加することを促進するため定められております。

さいたま市では、この障害者週間を記念して市民のつどいが開催され、12月6日にプラザノースとその周辺施設において、障害者団体や施設等によるブース出店やパラスポーツ体験、基調講演等が実施されました。

「麦」はこの「障害者週間」市民のつどいに参加し、団体活動紹介コーナーにポスターを展示しました。展示場所は 2 階のギャラリーで、防災関連などの体験コーナーには比較的多くの方が集まっていますが、各団体のポスターの掲示されているあたりには訪れる人もまばらで、ポスター前に置いた「麦」のリーフレットや勉強会やおしゃべり会などの行事のチラシも、あまり来場者に持って行ってもらえなかったようでした。

来場者のうちの多くは参加団体の関係者や、もともと障害に関心のある人達のように見受けられ、一般の市民に広く障害者について関心をもってもらうという目的としては、まだ半ばという少し残念な印象を持ちましたが、少しずつでも理解が広まれば良いと思います。(M・M)



令和7年度第2回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議

12/18（木）10:00～ 会場：与野本町コミュニティセンター多目的ルーム（大）

誰もが共に暮らすための市民会議は、さいたま市の障害者施策の実施状況や課題等について市民が相互に意見交換する場とし、お互いの理解と交流を深めることを目的に開催しています。

令和7年度第2回市民会議は防災をテーマとして、最初にさいたま市防災アドバイザーから、実際に災害が起こった際の避難所の実態、それを想定した避難所運営訓練の実践的な取り組みといった、「避難所の現状」や、命を守るために必要なことについての講義があり、続いて幾つかのグループに分かれて災害に備えた自助、災害時における共助について意見交換が行われました。

防災アドバイザーの講義では、自助としてハザードマップなどの情報収集や在宅避難への備えなどが紹介され、共助については避難所の収容人数や備蓄品などの状況が示され、個別避難支援プランなどの紹介がありました。個人がそれぞれ備えをしておくべきということは以前から言われていますが、改めて障害者は在宅避難も考えに入れ、防災について準備をする必要性を感じました。

グループごとの意見交換では、さまざまな障害を持つ方や福祉施設の関係者により、普段から準備していることや取り組み等が紹介され、災害時に想定される問題点なども指摘されました。病気や不自由さを抱えている方々のご苦労を感じました。発達障害者は身体的不自由さの面では大したことが無いだろうと思われてしまいがちですが、避難所で過ごすことが難しいことや、近所付き合いが不得意なことから生じる共助の困難さ、情報が得にくいという点では共通する部分も多くあり、周囲にも理解を求めることができれば良いと感じました。（M・M）



令和7年度第2回さいたま市障害者政策委員会

1/20（火）14:00～ 会場：さいたま市役所議会棟第6委員会室

さいたま市では障害者に関する施策の推進についての必要な事項の調査審議等を行うため、障害者政策委員会を設置しております。

令和7年度第2回委員会の議題は以下の通りでした。

- (1) 障害者支援地域協議会で挙げられた課題について
- (2) 次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査結果について
- (3) 誰もが共に暮らすための市民会議の報告について
- (4) さいたま市の障害福祉施策の課題について



(2)の当事者向けアンケートでは、「麦」のさいたま市会員の皆様にもご協力をいただきました。委員会での意見の中で気になったのが、発達障害だけではなく、どの障害に関してもアンケート結果に反映されない困りごとがあるということでした。アンケートで明らかな課題は勿論ですが、アンケートでは隠れてしまう課題についても要望を出すなどのことを通じて、改善を願いたいと感じました。(3)の市民会議の報告は防災についてをテーマとしていましたが、障害者の災害時における様々な困難さが指摘された点について、当事者団体や福祉施設の関係者から、防災に関して行政にどこまで期待できるのか等、様々な感想が寄せられました。(4)の障害福祉施策の課題は以前から指摘されているように、差別の解消、相談支援体制の充実、人材の確保と育成、社会参加など、様々な必要性が挙げられました。

他の障害の関係者からお話を伺うことは勉強になることが多く、有意義であると思います。障害者にとって暮らしやすい社会になることを望みます。（M・M）



ペアレント・トレーニング 研修

8/28（木）～2/19（木）さいたま市発達障害者支援センター
ファシリテーター 喜多見 学 氏（NPO 法人子育て応援隊むぎぐみ代表）

さいたま市発達障害者支援センターにおいて、発達障害のある我が子の対応に悩んでいる保護者対象のペアレント・トレーニングが実施されました。ペアレント・トレーニングとは、子どもの行動を分析しながら、その子に合った褒め方や伝え方、接し方を学ぶことで、親子関係の改善を目指すプログラムです。対象者はさいたま市在住の小1～小4の子どもを持つ保護者で、「麦」では対象者である会員に事務局からメール連絡いたしました。このペアレント・トレーニングでは、実際の様子を見学し、プログラムを学ぶ研修も行われたので、「麦」会長が申し込みました。参加した保護者の個人情報に配慮して、差支えない範囲で研修内容を報告します。

第1回 8/28（木）大切なことは3つ

第2回 9/11（木）ほめることを習慣にしよう

第3回 9/25（木）小さな良い変化を見つけよう

第4回 10/9（木）指示を上手に与えよう

第5回 10/23（木）上手な手助けを工夫しよう

第6回 11/6（木）今までのまとめと振り返り

第7回 2/19（木）フォローアップ

いずれも保護者は 10:00～12:00 会場参加

保護者は毎回ホームワークの提出あり（無理ない範囲）

保護者参加 6名

見学研修参加 6機関 7名

プログラム日程は上記の通りですが、8/20（水）は研修者だけの事前打ち合わせが行われました。研修者は毎回保護者より30分早く集合して打合せを行い、終了後30分～1時間ほど振り返りの時間がございました。当初は第6回で終了予定でしたが、2月にフォローアップを行うことになりました。

本研修に参加して、最初は子育てに自信を無くしていた保護者が、プログラムを受ける中で、徐々に自信を回復していく様子を目の当たりにしました。「麦」でも、ペアレント・トレーニングを推進できるよう活動幅を広げたく、会員皆様の希望を調査しながら、検討していきます。さいたま市発達障害者支援センターの皆様、ファシリテーターの喜多見様、参加された保護者の皆様、どうもありがとうございました。（H・Y）

令和7年度 研修講座



ペアレント・トレーニング・ファシリテーター養成研修

1/29（木）10:00～17:00 会場：さいたま市障害者総合支援センター

講師：喜多見 学 氏（NPO 法人子育て応援隊むぎぐみ代表）

さいたま市では今年度から、ペアレント・トレーニングがより多くの保護者に経験できる体制づくりのための事業を行っています。その一環として、所属する事業所等でペアレント・トレーニングの実施を目指す希望者にファシリテーター養成研修が行われました。（上の記事参照）放課後等デイサービスの職員が多く参加されていたようです。各団体2名の参加を求められたので、当会では会長と理事1名が参加しました。

ペアレント・トレーニングとはどのようなもので、親子それぞれにどのような効果をもたらすか、そのためにファシリテーターはどのように進行していけばよいかを学びました。とても1日の講座で習得できるものではなく、お話を伺うほどに、その奥深さや難しさを感じました。参加者同士2名で親子（子は年長から小4を想定）両方の役をするロールプレイもありました。親が子どもの減らしたいと思う行動に、どのような態度や声掛けをするかです。親の向き合い方が変わると子どもの感じ方が違うものだと、既にかなり過去の話になってしまった自身の子育てを思い出しながら体験しました。子どもの成長とともに同じ技法が使えるわけではありませんが、考え方の基本を学ぶことは大きな意味があると感じました。子どもを操作することを目的としない、ということをお忘れず、親子の笑顔を増やすためのトレーニングなのだと思います。とても有意義な研修に参加させていただき、ありがとうございました。より身近な場所でペアレント・トレーニングに参加できる環境が出来ることを願っています。（M・K）



令和7年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会

1/20（火）14:00～ 会場：さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」

さいたま市は、ひきこもり対策事業について報告し、関係機関同士が情報を共有できる「ひきこもり対策連絡協議会」を設置しています。ひきこもりになる人には、発達障害者も数多く含まれることから、「麦」は委員として参画しています。当日の議題を簡単にご報告します。

（1）ひきこもり相談センター活動報告

4～11月の専用相談電話は延 178 件、来年度はひきこもり対策からひきこもり支援へ名称変更

（2）総合教育相談室活動報告、学びの多様化学校活動報告

校内教育支援センター「Sola るーむ」と不登校等児童生徒支援センター（Growth）の役割
学びの多様化学校「いろいろ学園小学部・中学部」令和8年4月開校（6ヶ所にキャンパス）

（3）コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の活動報告及び事業計画

CSWとは、高齢や障害を問わず、課題解決に向けた地域支援を行う福祉専門職
令和7年度から、大宮区・桜区・浦和区・岩槻区に配置

（4）各委員所属機関活動報告（ひきこもり・学校・就労・社会福祉法人・生活支援・発達障害等の機関）

「麦」から8月「埼玉県不登校の子供を支えるためのセミナー」11月講演会などを報告

私は、発達障害のある人のひきこもりには、特性によるストレスや環境とのミスマッチが背景にあるので、生きづらさの軽減を解決の糸口にしてほしいと伝えました。関心のある方は、「麦」事務局までお問い合わせください。（H・Y）



令和7年度第1回発達障害者支援地域協議会

10/23（木）10:00～12:00 オンライン開催（Teams）

埼玉県発達障害者支援地域協議会は、発達障害者及びその家族、学識経験者並びに医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の職員が、県内の発達障害児・者への支援体制に関する課題について情報を共有し、実情に応じた支援体制の整備を図る為に、平成29年に設置されました。「麦」は、JDDnet 埼玉（日本発達障害ネットワークの埼玉県組織）に所属しているので、家族会として協議会の委員を務めています。本協議会は年2回実施され、10/23（木）今年度第1回の協議会が開催されました。報告・議題は下記の通りです。

今年度は会長の辞任があり、会長の選出、副会長の指名がありました。

報告

県の発達障害児・者の支援の取組について

議題

県内市町村における5歳児健診の現状と今後の課題について

埼玉県における5歳児健診の現状は今年度、16団体が実施中。将来的に48/63市町村が実施予定です。全市町村で5歳児健診が実施できるよう願います。

議題の中で和光市の5歳児健診の現状を和光市ネウボラ課母子保健担当の方からお話がありました。

私は「5歳児全員に健診が難しくても、ピックアップ方式では取りこぼしが大きいので無作為抽出はしないでほしい」「5歳児健診を実施している市町村でも発達支援、相談支援に結びつく対策をしてほしい」「自宅近くで通えるよう児童発達支援事業所や放課後等デイサービスなどを各市町村に増やしてほしい」と述べました。

（A・Y）



日本 LD 学会 第 34 回大会

大会テーマ：一人ひとり自分の学び方との出会いがそこにある 好奇心が伸びていく

10/18（土）～19（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター+オンデマンド

日本LD学会第34回大会が東京で開催されました。

「麦」は、日本LD学会の機関会員であり、全国LD親の会の正会員団体として毎年ポスターを展示しています。また私はLD学会の正会員でもあるので、大会に正会員枠で申込み、会場まで足を運びました。大会は、講演やシンポジウム、ポスター発表等が数百と行われているので、私はオンデマンド配信不可の内容を中心に参加しました。1日目はポスター発表を拝聴しました。2日目は全国LD親の会受付をお手伝いしながら、隣のブースで行われていたディスレクシアに悩む小学生の世界を疑似体験できるVR（=バーチャルリアリティ）を試させていただきました。授業中に黒板がどのように見えるか、窓の光のまぶしさ、同級生の声がどのように聞こえるか等、専用機器を装着して疑似体験いたしました。理屈ではわかっている、体験してみると大変さが身に沁みます。VRを利用して、発達障害の理解が進むことを望みます。

各会のポスター展示と撤収は、東京「にんじん村」が担当でしたが、私は近隣親の会としてお手伝いいたしました。関東以外の親の会も協力してくださり、初対面でも親の会同士の助け合いや繋がりを強く感じることができました。会場参加された親の会皆様、どうもありがとうございました。（H・Y）



全国 LD 親の会 オンライン各会役員交流会「親の会の運営について」

12/20（土） 19:30～21:30 Zoom 参加者 23 名

「麦」が所属する全国LD親の会では、偶数月に各地親の会の役員同士がZoomで交流できる場を設けています。今回のテーマも前回同様、「親の会の運営について」で小グループに分かれて話し合いました。

私のグループは、新潟「いなほの会」・兵庫「たつの子」・鳥取「らっきょうの花」・埼玉「麦」の役員で、「役員の選出方法」「会員が増えない」などについて意見交換いたしました。役員のみ手がない悩みは、どこでも同じようです。在住地域や年代に区分けして、そのグループから役員を選ぶ会が多く、会長主導で活動する会もありました。「麦」では、仕事を合理化し負担を軽減することで、役員は負担が重いという古いイメージを捨てていただき、仕事を持っていてもみんなで協力しながら、できそうな部分を手伝うような感覚で活動したいと思っています。会員を増やすことは、一筋縄ではいきません。まず会の存在を周囲に知ってもらう必要があります。でも、問い合わせがあっても入会しない人はいますし、入会してもすぐに退会する人もいます。会員のニーズを探り魅力ある活動を考えなければなりません。

各会役員交流会を通じて、他会の良いところを学び、「麦」に取り入れていきたいと思いました。参加された皆様、情報交換どうもありがとうございました。（H・Y）



大学在学中の職業準備と卒業後の進路の課題

11/15 (土) 13:00~15:00 Zoom 参加者 30 名

講師：朝日雅也氏（埼玉県立大学名誉教授）

発達障害のある大学生とその家族が就業に向けて知っておきたいことについて、「障害者雇用の全体像」「大学における対応と課題」「働きやすい人生を創る（職業準備に向けて）」「当事者の主体性を尊重する」「企業等の職場の変化も期待する」を柱にお話いただきました。

障害者雇用は雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新しているが、職場への定着や雇用の質の向上が重要であるということ。また大学にはどのくらいの障害学生が在籍しているか、在籍率卒業後の進路の状況は、などについては具体的な数値を示して説明していただきました。大学在学中の就労移行支援利用、障害学生に対するキャリア教育・就職支援などについても、具体的な取り組み事例を知ることができました。

就職に向けては本人も見守る家族も不安が尽きませんが、こうした情報を事前を得ることで、自らの障害と冷静に向き合い、適切な支援を受けながら、本人の適性を活かした就業につながればと思います。(M・N)



厚生労働省発達障害者支援施策勉強会「発達障害に関わる福祉施策」

2/11 (水・祝) 10:00~12:00 Zoom

講師：西尾大輔氏（厚生労働省 発達障害対策専門官）

現在 43 才になる息子の 3 歳児健診の時、私が言葉の遅れを相談すると「お母さんが子どもの目を見て話しかけていない。もっと子供の目を見てたくさん話しかけて」と言われました。勉強会に参加して、ふとそのことを思い出しました。今ではそのように言う人はいないことと思います。

発達障害支援法が制定されて約 20 年。発達障害がある人の自立と社会参加を目指し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うことを目的とした法律です。息子が大学生の時に成立しました。単位がとれずに大学に呼び出され、「障害があるからと単位はやれない」と言われて、その 1 年後に進級できないとまた呼び出されて、「支援法もできたので、これからは単位をとれるように支援していく」と言われたけれど、退学を決めた後だったので、後のまつりです。でも、それ以降は就労、生活とたくさんの支援を受けていると思います。今の学童期の子どもたちも放課後等デイサービスなどで支援を受けていると思います。その支援が正しく行われているか、子どもたちのニーズにあっているか、具体的にどのような支援をしてほしいのかと行政に伝えて行くのが親の会の役割だと思いました。

また、私達が住んでいる市町村では、どのような支援が得られるのか私達が要望していくのも大切だと思いました。

子どもたちを変えることはなかなかできないけれど、とりまく社会がよりいっそう生きやすいようになっていくことを願います。

勉強の場を与えていただきありがとうございました。(C・N)

勉強会の主な内容

- ①発達障害について
- ②発達障害者支援法について
- ③発達障害者の支援について
- ④発達障害者支援の調査・研究
- ⑤発達障害者についての普及啓発

令和7年度 移動等円滑化評価会議埼玉支局部会

12/19（金）14:00～16:00 レイブックホール集会室 1

国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局では、県内の移動等円滑化を促進するため、改正バリアフリー法に基づき、関係行政機関及び高齢者、障害者等、地方公共団体、施設設置管理者その他の関係者で構成する標記部会を設置して、定期的に状況を把握・評価しています。「麦」は発達障害団体として標記部会に参画しています。当日の内容を簡単にご報告いたします。

出席者概要：障害者団体：「麦」を含め6名、施設設置管理者：鉄道・バス・タクシー会社11名、
関連団体：バス・乗用自動車協会3名、地方公共団体：県と12市町から20名
他国土交通省9名と有識者（東洋大学名誉教授・会議座長）

- (1) 移動等円滑化評価会議埼玉支局部会における振り返り・・・前回からの改善点と改善が進まない点
- (2) 国におけるバリアフリーの取り組みについて・・・関東運輸局、関東地方整備局から報告
- (3) 自治体におけるバリアフリーの取り組みについて・・・埼玉県、川口市から報告
- (4) 意見交換・・・出席委員たちから一言ずつ

私は、「発達障害の特性に配慮した情報提供の工夫（読みやすい文字フォントの利用）」「感覚過敏のため混雑車両に乗車できない人が、刺激の少ないグリーン車両に1日複数回乗車できるように、1日あたりの使用回数制限を緩和してほしい」等、周囲へ理解を求めました。主催者である埼玉運輸支局の皆様、関係者およびご出席の皆様、当日はお世話になり、ありがとうございました。（H・Y）



役員活動報告

NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会 主催

発達障害の子どもとの接し方、注意点と工夫

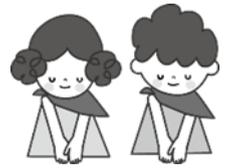
2/1（日）13:30～16:00 岩槻駅東口コミュニティセンター多目的ルーム C

講師：埼玉親の会「麦」会長

発達障害の二次障害にひきこもりがあることから、NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会（全国ひきこもり親の会の埼玉支部）から講演を依頼され、「麦」会長が月例会でお話しさせていただくことになりました。

当日の主な内容は、「発達障害と不登校・ひきこもり」「発達特性に応じた対応①基本的注意」「発達特性に応じた対応②親子間の工夫」「事例紹介」等です。発達障害への基本的対応を説明した後に、親子ゆえに起きがちなトラブルと解決の工夫をお話いたしました。我が子へ声掛けする2つのパターンを通して、より良い親子関係が築ける工夫を具体的にご紹介させていただきました。他人なら冷静に判断できるのに、親ゆえに我が子へ手を焼きすぎるのがしばしば起きます。反対に大雑把になってしまうこともあります。私も偉そうなことは言えず、子育てに何度も躓き、今でも反省の日々です。でも、失敗から得た工夫もあります。私や「麦」の仲間達の工夫が、同じように悩んでいる方々に役立っていただけたら幸いです。講演後は、家族同士の話し合いの場にも参加して、感覚過敏による困り事などを共有いたしました。

KHJ 埼玉けやきの会家族会の皆様、当日はお世話になりました。「麦」にも、不登校やひきこもりのお子さんを持つ会員がいます。KHJ 埼玉けやきの会家族会と協力しながら、不登校やひきこもりに悩む本人及びご家族が、適切なサポートを受けられるよう、取り組みたいと思いました。（H・Y）



「麦」活動報告（機関紙 2025 年 10 月 164 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
10/25（土） おしゃべり会 入会希望者お試し参加可（会場開催）
11/22（土） 講演会「発達障害のある子の不登校・ひきこもり」（会場+オンライン開催）
12/13（土） おしゃべり会 入会希望者お試し参加可（会場開催）
1/22（木） 就労勉強会「埼玉障害者職業センターについて」（オンライン開催）

<理事活動>

- 理事会（活動報告、計画、相談、情報交換等） 全て Zoom
10/10（金） 11/14（金） 12/11（木） 1/15（木） 全体例会、要望書回答、新入会の対応、総会等
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
10/25（土） 機関紙 164 号発行 WEB 掲載 機関紙及び配布チラシ等印刷、関係先に発送
- ホームページの更新
10/5（日） 10/25（土） 11/20（木） 12/20（土）
- 行政関連の行事
10/23（木） 令和7年度第1回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）
12/18（木） 令和7年度第2回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議（会場開催）
12/19（金） 埼玉運輸支局 移動等円滑化評議会埼玉支局部会 11/13（木） 事前打ち合わせ
1/20（火） 令和7年度第2回さいたま市障害者政策委員会（会場開催）
1/20（火） 令和7年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会（会場開催）
1/29（木） さいたま市令和7年度短縮版ペアレント・トレーニング・ファシリテーター養成研修
- その他の理事活動
8/28（木）～2/19（木） ペアレント・トレーニング研修参加（8/20 打合せ含む）
12/6（土） 障害者週間「さいたま市 市民のつどい」（会場開催） 前日ポスター持参
1/5（月） 入会個別相談（Zoom）
2/1（日） ひきこもり家族会へ講師派遣「発達障害の子どもとの接し方、注意点と工夫」（会場開催）

<全国 LD 親の会の行事>

- 8/20（水）～11/10（月） 特別支援教育支援員養成ビデオ講座
- 10/18（土）～19（日） 日本 LD 学会第 34 回大会 ポスター展示等 資料事前印刷 10/13（月） 15（水）
11/15（土） 会員向け学習会「大学在学中の職業準備と卒業後の進路の課題」 Zoom
12/20（土） 全国役員交流会 Zoom
2/11（水祝） 会員向け行政勉強会「厚生労働省発達障害者支援施策勉強会」 Zoom



埼玉親の会「麦」主催

発達障害の子を持つ保護者おしゃべり会

お子さんへの接し方や今後の生活に不安を感じていませんか？
同じような立場の仲間同士で、悩みを話してみましょう。保護者以外のご家族の方も参加できます。



麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、**入会希望者のお試し参加を受け付けます**。参加ご希望の方は 下記の申し込み先にご連絡ください。お待ちしております。

定員 20名 先着順 定員になり次第締切

日時 3月28日（土）13:30～15:30（受付 13:15～）

会場 さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室 3

さいたま市大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮センタープラザ
JR 大宮駅西口徒歩 5 分 有料駐車場あり TEL048-643-5651

参加費
無料

3/21（土）までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。

WEB フォームから申し込みできない方は、

メール mugi.saitama89@gmail.com

電話 080-4125-6020

こちらから申し込みをお願いします。

3日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020 へ電話をお願いします。参加者の情報は、運営と緊急連絡等以外に使用いたしません。

☆保育は行っておりません。

お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に遅れない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。1989年発足。

埼玉親の会「麦」

<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



申込先 埼玉親の会「麦」 WEB フォーム

<https://forms.gle/u8sGLoSpBTUAhJmHA>



講演会

主催 埼玉親の会「麦」 後援 NPO 法人全国 LD 親の会

会場
オンライン

発達特性のある子の保護者支援 ～ペアレント・トレーニングと支援ファイルの活用～

発達特性のある我が子に、ガミガミ怒ってしまうことはございませんか？周囲と円滑に連携できず、ギクシャクしていませんか？むやみに頑張るだけでは、行き詰ってしまいます。我が子に接する適切な手法を学び、周囲と支援内容を共有できるツールを使うと、良い方向に向かえそうです。

今回は、保護者支援の中でも、より良い親子関係を築くことができる「ペアレント・トレーニング」と、継続的かつ円滑な連携を図れるツール「支援ファイル」を中心にご講演いただきます。

日時 4月19日（日）13:30～15:30（受付 13:15～）

講師 中尾 賢史 氏 さいたま市発達障害者支援センター 公認心理師・臨床心理士

会場 浦和コミュニティセンター IT研修室 または オンライン
さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F（浦和パルコ内）

TEL 048-887-6565 有料駐車場あり JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前

参加費 一般/非会員 500 円（資料代として）会場参加者は当日受付でお支払いください。

オンライン参加者は受付完了メールに掲載するゆうちょ口座へ事前振込みをお願いします。

「麦」会員（正会員・賛助・法人）/全国 LD 親の会会員 無料

申込先 埼玉親の会「麦」WEBフォーム

<https://forms.gle/QNDMqLJ4RvfrMp9k9>

メール mugi.saitama89@gmail.com TEL 080-4125-6020



定員

会場 20 名 オンライン 30 名
定員になり次第、締め切ります

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に大きな遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。「麦」は子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989 年発足。

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



4月12日（日）までに、WEBフォーム・メール・電話のいずれかでお申し込みください。WEBフォームとメール申込者には、3日以内に mugi.saitama89@gmail.com から受付完了メールが届きます。届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は080-4125-6020へ電話をお願いします。オンライン参加者には、受付完了メールにZoom接続先や参加費振込方法（非会員）など詳細を連絡します。参加者の情報は、運営と緊急連絡等以外に使用いたしません。☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。



埼玉親の会「麦」主催

発達障害の子を持つ 保護者おしゃべり会

5月病などお子さんの心や体の変調に不安を感じていませんか？
同じような立場の仲間同士で、悩みを話してみましょ。う。
保護者以外のご家族の方も参加できます。

参加費
無料

麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり
会ですが、**入会検討中の会員以外の方もお試し参加として受け付け
ています。**参加ご希望の方は 下記の申し込み先にご連絡くださ
い。皆様の参加をお待ちしております。

日 時 5月31日（日）10:30～12:30（受付10:15～）

会 場 さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室3

さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ
JR大宮駅西口徒歩5分 有料駐車場あり TEL048-643-5651

定 員 20名 先着順 定員になり次第締切

申込先 埼玉親の会「麦」 WEBフォーム

<https://forms.gle/KwustChgW3F4gtKV6>

またはメール mugi.saitama89@gmail.com

電話 080-4125-6020



5/24（日）までに、WEBフォーム・メール・電話のいずれかでお申し込みください。

WEBフォームとメール申込者には、3日以内に「麦」から確認メールが届きます。メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は申込先へメールか電話をお願いします。参加者の情報は、運営と緊急連絡等以外に使用いたしません。

☆保育は行っておりません。

お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは・・・

埼玉県内のLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に大きな遅れのない発達障害の子ども（幼児～成人）を持つ保護者で構成されています。「麦」は子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。1989年発足。

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



麦 INFORMATION 2月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで
mugi.saitama89@gmail.com 機関紙担当まで。

✿ 埼玉親の会「麦」主催 全体交流会 おしゃべり会

日時：3月28日（土）13:30～15:30（受付13:15～）

会場：さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室3

定員：会場 20名 先着順 定員になり次第締切 参加費：無料

※詳細は11ページのチラシをご覧ください。



✿ 2026年度 第37回総会（正会員限定）

日時：4月19日（日）10:30～（受付10:15～）

会場：浦和コミュニティセンター IT研修室+オンライン

※4月初旬に郵送する出欠ハガキを4月13日（月）必着でご返送ください。



✿ 埼玉親の会「麦」主催 講演会

発達特性のある子の保護者支援～ペアレント・トレーニングと支援ファイルの活用～

講師 中尾 賢史 氏 さいたま市発達障害者支援センター 公認心理師・臨床心理士

日時 4月19日（日）13:30～15:30

会場：浦和コミュニティセンター IT研修室+オンライン

総会后、講演会に参加の会員は昼食をご用意ください。

※詳細は12ページのチラシをご覧ください。



✿ 埼玉親の会「麦」主催 全体交流会 おしゃべり会

日時：5月31日（日）10:30～12:30（受付10:15～）

会場：さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室3

定員：20名 先着順 定員になり次第締切 参加費：無料

※詳細は13ページのチラシをご覧ください。

※理事会（Zoom）のお知らせ

3月23日（月）、4月16日（木）どちらも9:15～（遅刻早退可能）

理事会は毎月1回 Zoom で行ない、理事だけでなく正会員なら誰でも参加できます。

理事会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。

連絡先 mugi.saitama89@gmail.com

～ 新年度の環境変化や新たな環境に向かう不安に対して、会員の皆様はどんな対策を取っていますか？

～ 親子だけで不安を抱えていると、とても苦しくなりませんか？仲間で知恵を出し合ひましょう。

～ 「麦」では、会員のストレスや不安が軽減できる企画を考え計画しています。

～ 会員の皆様、ご都合が合えば是非ご参加ください。企画案は随時募集しています。

～ 編集後記～ 2025 年度機関紙担当からのご挨拶

* 機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙2月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。

これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。〈機関紙担当一同〉

* 寒い日が続いていますが、少しずつ庭に花を植えながら春の訪れを待っています。もうすぐ4月。これから始まる新生活には不安もありますが、期待もいっぱいです。(M・N)

* 今年度も後一ヶ月余りで終わろうとしています。環境が大きく変わりましたが、充実した一年でした。来年度もよろしくお願ひいたします。(A・Y)

